

教科・科目		対象学年	単位数	教科書	使用教材
芸術・書道Ⅰ		2	2	書Ⅰ 書Ⅰプライマリーブック (教育図書)	なし
目標	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。		書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。		主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
評価	・古典の臨書やワークシート、鑑賞カードから「知識・技能」を評価する。 ・授業や創作作品、鑑賞カードから「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。				
学期	学習内容（単元）		到達目標		
1	○書へのいざない ○漢字の書 ・楷書古典 ・行書古典 ・篆書古典 ○篆刻 印の制作		・日本および中国等の文字と書の伝統と文化、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解する。 ・楷書や行書、篆書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付ける。 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解する。 ・意図に基づいた表現について構想し工夫する。		
2	○漢字の書 ・草書 真草千字文 ・隸書 曹全碑 ○漢字の書の作品制作 ○仮名の書 ・仮名の基本用筆 ・蓬莱切 等 ○仮名の書の作品制作		・草書や隸書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、それぞれの古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付ける。 ・漢字の書の書体や古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫する。 ・仮名の書の基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線質や字形を生かした表現を身に付ける。 ・仮名の書の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫する。		

3	<p>○漢字仮名交じりの書の作品制作</p> <p>○生活の中の書</p> <p>・はがき・手紙の書式</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫する。 ・目的や用途に即した効果的な表現の技能、漢字と仮名の調和した線質による表現を身に付ける。 ・生活や社会における書の効用について考え、書の良さや美しさを捉える。
---	---	--